

調査研究活動実績

桑名龍吾

2020年2月に高知県で第一例目となるコロナ感染が確認されました。以後、感染拡大の防止対策や自粛に伴う経済の停滞対策に取り組みました。第一波ではマスク不足の解消、事業者への経済的支援、学校の休校に伴う影響などの調査に取り組みました。その後、少し落ち着きを見せた頃は、経済の活性化に向けたリカバリーキャンペーンの推進と取り組み状況を調査してきました。第三波では、飲食関係の休業により影響をうけた関連業者や外出自粛に伴う影響をうけた事業者から意見聴取を重ねました。コロナの影響は、多くの産業や県民が受けています。この影響は、今後も続くものであり、感染防止対策や経済対策、困窮者支援は関係者の意見を聞き、実効性のある対応をしていかなければなりません。また、コロナ禍の外出自粛などで健康を害することのないよう細やかな配慮が必要と考えます。コロナ禍においても本県の掲げる産業振興計画、日本一の健康長寿県構想、南海トラフ地震対策は、着実に推進をしていかなければなりません。

2020年度主な調査研究項目

○コロナ対策について

○産業活性化に向けた調査研究

○教育振興について

○コロナ感染症に関する条例づくりの調査研究

○その他県政課題について